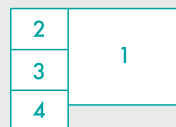
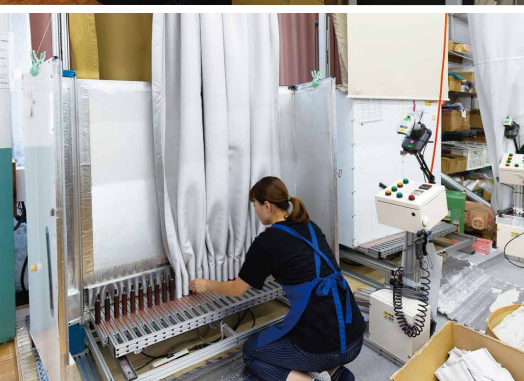
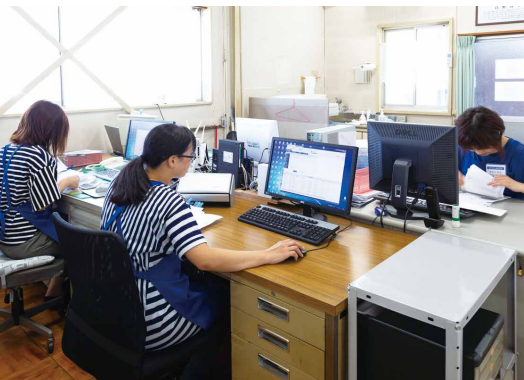


カーテン縫製加工の「見える化」と「標準化」を実現させる生産体制の確立



- 1 作業が完了すると縫製指図書のバーコードをスキャンして進捗情報を記録する。
- 2 生産情報はサーバーに蓄積され、全社がリアルタイムで共有できる。
- 3 従来の熟練工による方法と遜色ない加工を実現したプリーツフォーマー。
- 4 難易度の高いレース生地の手返しでも高品質な加工ができるカーテン三ツ巻き縫い自動機。

作業の進捗状況をリアルタイムで把握し、熟練作業を自動化。

丸幸せんいは、レースカーテンを軸にカーテンの企画製造を展開しているが、納期確認などへの対応や生産表への記入・確認などの業務が作業現場の生産効率を顕著に低下させていた。また人手不足などを背景に、特に不良発生率の高い裾縫いや形状記憶加工の工程では、熟練度が低い作業者でも高品質な加工を可能とする標準化が課題となっていた。

生産数や進捗状況など生産情報の管理のために、進捗管理システムを導入。縫製(生産)指図書に印字したバーコードを作業終了後にスキャナーで読み取り、その情報をサーバーに蓄積してリ

アルタイムに全社で共有。顧客からの問い合わせには事務担当者が対応し、商品探しの時間が75%、生産現場で生産数の記入などに要した時間が78%、それぞれ削減された。熟練技術を必要とした生産工程のうち形状記憶工程は「プリーツフォーマー」で機械化したことにより、専門の作業員が担当しなくても従来の方法と遜色ない品質の加工を、より短時間でできるようになった。裾縫いでも「カーテン裾三ツ巻き縫い自動機」によって熟練作業者と同等の品質が得られ、特に力加減が難しいレース生地の裾の底部分の手返しでも高品質を維持できた。

注目すべき成果

品質を安定させながら、生産性を向上。

熟練工の技術に依存していた工程でも、安定して高品質な加工が可能となり、不良発生率が大きく低下。顧客からのクレーム発生率も低い。現場の生産数記入などの手間も軽減され、1日の生産可能量は約30%アップした。

注目すべき成果

生産現場の納期管理意識が向上。

朝礼時などに各工程の進捗状況を生産現場全体が正確に把握できるようになり、従業員の納期管理意識が高まった。また生産数量記入などの手間が少なくなって作業へのゆとりが生まれ、加工品質も高まっている。

今後の展望

進捗管理を、品質向上や職場環境の改善にも応用を。

進捗管理システムをより細かく配置して作業工程の「見える化」をさらに推進。得られたデータを各工程の問題抽出に活用して品質向上につなげたり、従業員の適材適所の配置などにも役立てたりしていく。

ものづくり専門員から一言

数値や評価に現れている事業の成果。

進捗管理システムによる現場の手間の軽減や、熟練工程の自動化など、本事業による各工程の成果の積み重ねによって、生産量も不良発生率も着実に改善。生産体制の問題点を的確に分析し「見える化」と「標準化」を図った成果が、数値にも受注先からの評価にも如実に反映されている。

こんな会社です！



代表取締役
佐々木 直哉さん

生活に密着した「買って良かった」商品をお届け。

1972年の創業以来「挑戦・行動・創造」を経営理念に、カーテン全般やインテリア雑貨などを幅広く企画販売しています。「断熱機能を有したレースカーテン」など、豊かな生活文化の実現に貢献する先駆的な製品も世に送り出してきました。当社の商品は消費者の生活に密着したものであるだけに、お客様に満足し「買って良かった」と思っただけの商品をお届けしたいと考えています。そのためには本事業のように、従業員一人ひとりが自分の役割を果たし、品質を高めていける仕組みを整えていくことも、当社にとって大切な“技術革新”の一つです。

丸幸せんい 株式会社

代表者／佐々木 直哉
設立／昭和47年(1972年)
資本金／1,000万円
従業員数／48名
事業内容／インテリアカーテンの製造販売
売上高／2億8,000万円(29年8月期)
〒915-0054 越前市小野谷町4-1-13
☎0778-24-2520 FAX.0778-24-5178
E-mail info@maruko-tex.co.jp
URL http://www.maruko-tex.co.jp/



本社ショールームに展示されたカーテン。



本社・工場